



青 農 整 号 外  
令和 3 年 6 月 25 日

報 道 機 関 各 位

青森県 農林水産部 農村整備課長  
( 公 印 省 略 )

### 環境公共通信 第 50 号について

「環境公共」に関する情報を広く発信するため、別添のとおり環境公共通信 第 50 号を発行し、県庁ホームページ内「環境公共－地域づくりの新しいかたち－」に掲載しましたので、お知らせします。

「環境公共－地域づくりの新しいかたち－」 URL

<https://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>



報道機関用提供資料	
担 当 課 担 当 者	農林水産部農村整備課企画・調整グループ GM 石黒 峰成
電 話 番 号	直通：017-734-9545 内線：4879
報 道 監	農林水産部 次長 石澤 雅史（内線：4966）



## ■最近の話題

### 「水田地域基盤整備低コストモデルパンフレット」を作成しました

青森県では、水田地域において効率的な高収益作物の生産を目指し、省力化・低コスト化に対応した基盤整備を進めており、この度、生産者向けのパンフレットを作成しました。

これまで、農地の大区画化を進めてきた結果、担い手への農地の集積・集約化、大規模経営体の育成といった成果が現れている一方で、米の需要は年々減少しているほか、農家の高齢化による労働力不足などの課題を抱えていることから、水田地域において、機械作業による省力化が可能な高収益作物の生産拡大が必要となっています。

本パンフレットでは、県重点枠事業「水田地域基盤整備低コストモデル作成事業」において、水田をキャベツ畑やりんご園へ転換した農家8戸からの聞き取りなどにより、転換のポイントを3つにまとめたほか、その3つのポイントに対応した基盤整備の方法について紹介しています。また、水田を畑や樹園地に転換するために必要な最低限の基盤整備方法を示した「基盤整備低コストモデル」を作成したほか、県内農家で水田から畑等へ転換し、省力化や人件費削減に成功した事例についても詳細に紹介しています。

生産者の皆様が、本パンフレットを参考に、高収益作物の生産拡大によって、所得向上に繋げていただくことを期待しております。

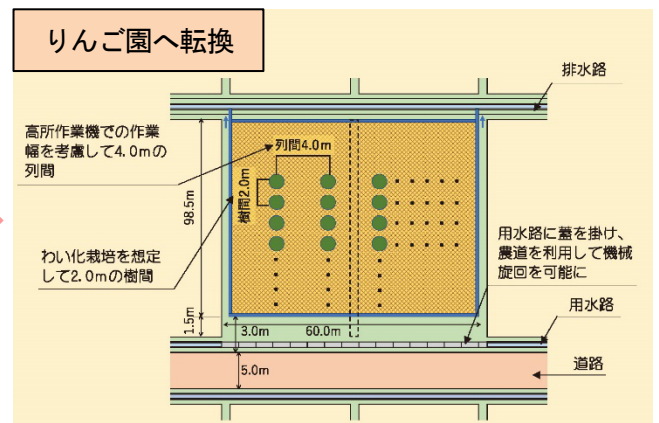
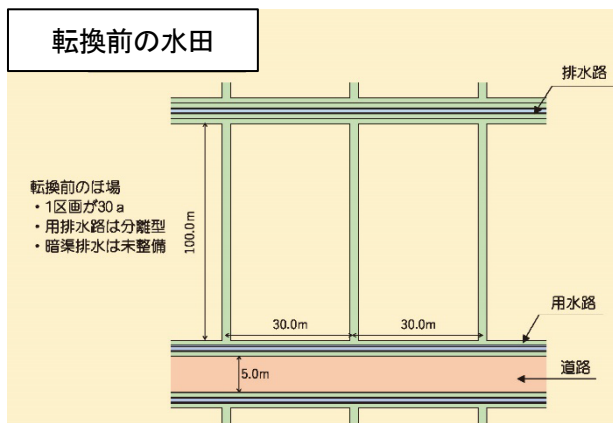
なお、本パンフレットは、県庁ホームページで公開しておりますので、参考にして下さい。

(県庁HP: [https://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kibanseibi\\_teicostmodel.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kibanseibi_teicostmodel.html))

### ○基盤整備低コストモデル(りんご園への転換)



作成したパンフレット



## ■「環境公共」事例紹介

### 北東北地区(上北郡東北町) ～環境へ配慮した取組～

#### 1 地区の概要

東北町は、県の東部、上北地方のほぼ中央に位置し、町の基幹産業は第1次産業で、農業では水稲と野菜の複合経営が主体となっています。

農業を取り巻く状況は高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの問題が深刻化しています。

このため、農作業の省力化や維持管理費の軽減、荷傷み防止や通作・集出荷時間等の短縮による生産性の向上と高品質化を図るために、農業用排水路、農道及び集落道を整備する、北東北地区中山間地域総合整備事業を実施しているところです。



#### 2 農業用排水路の整備

北東北地区の切左坂用水路は、土場川頭首工を起点とする蛇行した土水路で、土砂の堆積がみられました。また、山からの排水も流入しており、大雨時には水路が溢れ被害が発生していました。

このため、維持管理労力等の低減等を図るとともに、洪水等の被害発生を防止するため、水路をコンクリート製品により整備するとともに、山地からの排水を一部土場川へ排水するために流末水路を整備しました。



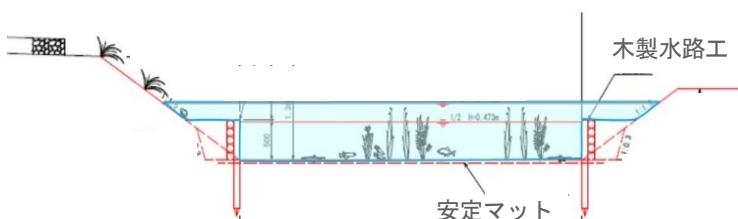
現況（整備前）

#### 3 環境配慮施設

本水路には、希少生物の生息は確認されませんでした。左岸側の山地と右岸側の水田の境界に位置しており、土場川にも近いことから生物の生息空間をつなぐ場の一部として、既設水路敷地の残地を活用し、環境配慮施設を設置しました。

計画にあたっては、泥上げや除草作業のために水路内に容易にアクセスできるように丸太で階段を設けるとともに、水路底は軟弱地盤であることから、安定マットを施工することで、維持管理作業の負担軽減を図っています。

##### 環境配慮施設



環境配慮施設（完成）